



制作：名城大学薬学部 病態解析学Ⅰ・Eプロ（佐治凧帆、野田幸裕）、衛生化学・Eプロ（河西初音）、薬品作用学（間宮隆吉）
監修：NPO J-DO（鍋島俊隆）

令和元年9月19日（木）名古屋市立八事小学校にて
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」
「くすり教室：実験講座」「薬物乱用・依存」の出前授業・Eプロを開催：
特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）と共催

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生にも「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）の協力の下に行っています。今年度は名城大学 Enjoy Learning プロジェクト（通称：Eプロ）の薬学生と共に行うことになりました。

名古屋市立八事小学校（鶴飼勇次校長）の宇佐美敬之教務主任のご尽力により、令和元年9月19日（木）、名古屋市立八事小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」「薬物乱用・依存」を下記の内容にて催しました。当日は、学校薬剤師 矢野薫平先生も参加され、薬物乱用についての講義をしていただきました。小学生6年生66名がくすりについて学び、「お茶におくすりをいれたら黒くなっちゃった」「くすりの中ってこうなっているんだね」と大好評でした。今年度のEプロとしては2回目の開催となりました。

名古屋市立八事小学校における「くすり教室」

日時：令和元年9月19日（木）10時40分～11時50分

場所：名古屋市立八事小学校 体育館2階

内容

- ・「実験を始める前のお話」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A方式で小学生が答える、児童参加型で行いました。学部5年の河西初音がスライドを使ってわかりやすく説明し、小学生が元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。

- ・「体験実験」

名城大学薬学部 野田幸裕教授（NPO J-DO 副理事長）がスライドを使って実験の説明をする中、小学生は12グループ（1グループ5～6名）に分かれ、内容をより理解できるように、鍋島俊隆先生（NPO J-DO 理事長）、名城大学薬学部 間宮隆吉准教授（NPO J-DO 理事）、薬学生（病態解析学Ⅰ 院生2名、5年生3名、衛生化学研究室5年生1名、薬品作用学研究室5年生2名および病院薬学研究室5年生4名）が補助しながら、体験実験を行いました。

<実験項目>

1. コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」をのむのはなぜ？
2. 水がなくても飲める薬があるのを知ってる？
3. 「くすり」を「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
4. 「うがいぐすり」でうがいした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？



名古屋市立八事小学校における授業

「乱用薬物には絶対手を出さない！」

日時：令和元年9月19日（木）11時50分～12時10分

場所：名古屋市立八事小学校 体育館2階

内容

・「STOP the 薬物！～断る勇気が未来をつくる～」：講義

どのような薬がドラッグとして乱用されているか、薬物乱用はどのように怖いのか、乱用されているくすりの正しい情報、薬物乱用者の実態、薬物乱用に対してみんなができることについて、学校薬剤師 矢野薫平先生がスライドを使用して分かりやすく説明しました。お話を通して薬物乱用の恐ろしさについてしっかりと理解することができました。

